

# 《環境のお話》



## 使用済みペットボトル

2008年1月

前回、500mlペットボトルの生い立ちについてお話ししました。自主規制が撤廃され、多く出回るようになった500mlペットボトルですが、やはり使用済みのペットボトルが廃棄物として問題になっています。

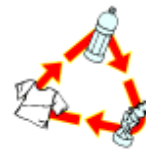
ペットボトルは石油によって作られるプラスチックの一つ。廃棄後は分解されずずっと残ってしまいます。そこで、私たちに必要なのは、『リサイクル』に対する意識。

スーパーなどの店頭で回収ボックスが置かれているので、回収に積極的に参加されている方も多いかもしれませんが、ペットボトルの回収率は意外とまだ低いようです。回収されたペットボトルは、様々な業者を通して、選別、圧縮、粉碎などを経てワイシャツ、カーテン、洗剤用ボトル、ボックスなどの、新しい製品に生まれ変わることができます。ゴミになってしまったらもったいないですよね？

ところで、このマークをご存知ですか？



ペットボトルには、必ずこのマークが記載されています。これ以外のマークがついていたら、ペットボトルではないので回収できません。ペットボトル以外のものが混ざっていると、選別に手間がかかってしまうそうです。リサイクルと分別回収を意識して、ゴミを減らしたいですね！



Copyright(c) 2006 OKAYAMA CO., LTD. All Right Reserved



〒113-0034 東京都文京区湯島2丁目32番7号

TEL 03-5688-6700 / FAX 03-5688-6709 [E-MAIL okayama@kk-okayama.co.jp](mailto:okayama@kk-okayama.co.jp)